

風土記の丘の花だより¹³⁷

今、そしてこれから見られる植物(2022年6月4日)

6月に入り、また近いうちに梅雨入りのニュースも聞かれることでしょう。アジサイやクチナシが似合う季節になりました。少し遠いですが、金竜大神から大日山に向かう道沿いにササユリが今年もきれいに咲いています。その足元にはツルアリドオシの白くて小さな花も咲いていますよ。よかったら、見に行ってみてください。



園内のあちこちにオカトラノオがきれいに咲いています。小さな花が穂のようにかたまって咲く花にはよく「なんとかトラノオ」という名前が付いていますが、この花の曲線美は（滅多に見る事はないですが）まさに「虎の尾」ですね。サクラソウ科の植物で、梅雨のジメジメをやわらげてくれる花の一つです。



クサイチゴの真っ赤な実がたくさんなっています。とてもおいしいイチゴで、たくさん収穫してジャムにしたこともあります。冬はフユイチゴでも同じ事をしましたが、どちらもおいしかったです。ちなみに、地面になっている赤いイチゴはヘビイチゴで、これは食べられたものではありません。よく言われるような毒こそありませんが、水分が少なくパサパサで、甘くありません。お間違いのないように。



竪穴住居の前の坂道で、上を見上げてください。キササゲの花が咲いています。去年の実のさやがまだぶら下がっていますが、それがお豆のキササゲのようなので、この名前が付いています。坂道はつつい下を向いて歩きがちですが、後ろに転ばない程度に上を見上げて写真のようなきれいな花を探してみてください。



旧谷山家の庭や柳川家の前の通路、万葉植物園などでトウカンゾウのオレンジ色、というより橙（だいたい）色に近い色の花が咲いています。同じ仲間のヤブカンゾウももうすぐ咲き始めることでしょう。それに続いて同じ仲間のユウスゲ、ノカンゾウと順番に咲きます。お楽しみに。園芸植物にヘメロカリスという花がありますが、みんなそれと同じ仲間です。松下